



■表紙は北明小学校5年 川崎巴菜(かわさきはな)さんの作品です。テーマは「SAGAバルーン」



議会だより

■標題は千綿結奈(ちわたゆいな)さんの作品です。(福富小学校6年時)

- P2 1・3月議会概要、賛否一覧
- P3-4 議案審議ピックアップ
- P5 附帯決議案提出、議会活性化特別委員会
- P6-13 一般質問で町政を問う
- P14 全国町村議会議長会表彰、最近の主な議員活動
- P15 常任委員会報告
- P16 要望書、編集後記

令和8年

3

月議会

第84号

1月臨時議会・3月定例議会概要

3月定例議会は、3月3日から16日までの14日間で行いました。

町長から、令和8年度予算や条例改正など23件の議案が提出され、各議案は本会議での審議を経て、全て可決・異議ない旨答申されました。

一般質問は8人が行い、町政運営、まちづくり、地域産業の振興、福祉などについて執行部の考えを質しました。

また、1月19日には臨時議会が開催され、補正予算に関する2件の議案を可決・承認しました。

賛否一覽

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

議案番号	議案	結果	溝上	南里	田島	吉岡	岸川	友田	重富	中村	定松	前田	吉岡	草場	片淵	西山	溝上	
			上	里	島	岡	川	田	富	村	松	田	岡	場	淵	山	上	
1月臨時議会	1 専決処分の承認(令和7年度白石町一般会計補正予算(第7号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	2 令和7年度白石町一般会計補正予算(第8号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3月定例会	3 専決処分の承認(令和7年度白石町一般会計補正予算(第9号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	4 白石町課設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	5 白石町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	6 白石町印鑑条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7 白石町ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8 白石町学童保育所設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9 白石町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	10 白石町地域福祉基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	11 白石町火入れに関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12 白石町社会体育施設等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	13 第4次白石町総合計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	発議 第4次白石町総合計画に対する附帯決議(案)	否決	○	○	●	○	●	○	○	●	○	○	○	●	●	●	●	●
	14 第2期白石町過疎地域持続的発展計画の策定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15 人権擁護委員候補者の推薦(百崎和彦氏)	異議ない旨答申	全員賛成															
	16 令和7年度白石町一般会計補正予算(第10号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17 令和7年度白石町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18 令和7年度白石町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19 令和7年度白石町下水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20 令和8年度白石町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21 令和8年度白石町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22 令和8年度白石町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23 令和8年度白石町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24 白石地域新設小学校地盤改良工事(東工区)請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25 白石地域新設小学校地盤改良工事(西工区)請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議 白石町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。
採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。

令和8年3月議会定例会には、14人の傍聴者にお越しいただきました。皆さんの傍聴をお待ちしています！



議案審議ピックアップ

議案第12号 白石町社会体育施設等に関する条例の一部を改正する条例

Q溝上広行議員

公共施設等再編計画では学校の再編に伴い社会体育施設の在り方を見直すとなっているが町は現状をどう捉えているのか。今後のロードマップを示すべきではないか。

A生涯学習課長

建て替えが必要となる場合は集約も検討が必要だが、昨今は体育館使用の需要も増えているため、今すぐ集約は難しい。

A企画財政課長

今後の計画は、関係部署で案を練る予定なので現時点では未定。

議案第13号 第4次白石町総合計画の策定

Q田島隆一議員

自主防災組織の組織率の目標を引き下げた理由は。

A総務課長

より実態に即した目標にしたいため見直しを行ったが、活動の重要性は変わらない。組織率の向上を図っていきたい。

Q友田香将雄議員

第3次総合計画の総括や検証結果について公表していくべきではないか。

A企画財政課長

令和7年度までの各課に対するヒアリング結果は6月をめどにHPに載せる。重点政策の効果検証は、効果未達の場合、理由を書く必要も出てくるため公表しない。

議案第16号 令和7年度一般会計補正予算 老人クラブ活動等社会活動推進事業費

Q吉岡正博議員

高齢者が増加している中で48万2千円減額補正してある。どういった計算方法で算出しているのか。

A長寿社会課長

計算としては人数×830円、それに定額の金額をプラスした計算方法となっている。今回の減額については当初見込みより実績が減ったことが要因である。

議案第20号 令和8年度一般会計予算

●予算全体

Q田島隆一議員

当初予算が約181億と周辺市町と比べても特出しているが理由は。

A企画財政課長

白石町は農地やクリーク排水機場等が多く行政需要が多くなる。物価や人件費の高騰で予算額が上昇する予測があり、また制度上、国や県の予算が増えると町の予算も増える。今後も大きな予算規模で推移する予測。

●認知症施策推進事業

Q重富邦夫議員

徘徊などを調べる屋外向けのGPS機器への支援はあるが、屋内向けで安心・見守りカメラなどの費用に対し支援はできないのか。

A長寿社会課長

高齢者の見守りについていろいろ検討してきた中で、見守られている実感があり、かつ、重々しくない見守りとして、スマートフォン向けの高齢者見守りアプリの導入を来年度考えている。

●閉校施設管理費

Q友田香将雄議員

閉校する3校については指定避難所になっているが、4月以降、鍵の管理はどうするのか。また、地域防災計画については各避難所の収容人数等が載っているが、3月末時点で変更される認識でいいのか。

A企画財政課長

議員をはじめ駐在員、地域の方々、また、サウンディングという形で説明を行い意見も聞いてきた。取り扱いについては決定しだい報告する。

議案審議ピックアップ

議案第20号 令和8年度一般会計予算

●フリースクール就学支援事業

Q中村秀子議員

引きこもりの子どもたちの見込み人数は、また、そこで行われる授業のカリキュラムについては把握されているのか。

A学校教育課長

見込み人数については、情報が入ってきてないが数件の面接と電話相談があっている状況である。カリキュラムについては健康観察や学びの時間などを含め、支給されたタブレットを利用したプリント学習やドリル学習の補填、バドミントンなどの軽運動を行うことにより自分の居場所づくりを学ばせる内容となっている。

●住みいる“しろいし”応援事業／

要旨 39歳以下の夫婦や中学生以下の子供がいる世帯への住宅取得補助

Q重富邦夫議員

- ①SAGAゼロカーボン加速化事業との併用は可能か。
- ②都市計画区域の見直しにより要件が追加されるか。
- ③人気事業であるとの認識だが、補助要件に変更はあるのか。

A総合戦略課長

- ①併用可能。
- ②都市計画区域内外で要件に差はない。
- ③制度のリニューアルについては先んじて検討が必要だと考えている。

●道の駅しろいし推進事業費／

要旨 道の駅しろいしの指定管理委託(委託先:地域振興団体道の駅しろいしカンパニー)

Q友田香将雄議員

指定管理者は条例により情報公開が求められている。道の駅しろいしカンパニーの収支決算などがHPに公開されていない理由は。

A商工観光課長

議員には収支決算を報告しているが、売上などを大々的に公開すると防犯上リスクが高まる問題があると考えHPには掲載していない。今後公開する情報や方法について精査、協議していく。

●スマート農業機械導入事業／

要旨 高齢化の進展や農業従事者の減少に対応して、自動操舵システムの導入にかかる費用の一部を助成する。

Q片渕栄二郎議員

事業の対象となる作付面積の下限を、14.5ha以上から10ha以上に緩和できないか。

A農業振興課長

二毛作については、両方の作付面積を合計して14.5ha以上であれば対象となるので、そのことを周知していく。

●公営住宅ストック総合改善事業／

要旨 建物や設備が老朽化している町営住宅について、改修していく。

Q友田香将雄議員

住ノ江町営住宅については、国土利用計画との整合性は取れているか。改修しても、居住可能期間には限度があるので、その点も考慮して今後の施策を検討する必要がある。

A総合戦略課長

国土利用計画の住宅ゾーンには入っている。国土利用計画も踏まえてやっていきたい。

A建設課長

居住者が減少している傾向にも考慮して、施策を実行していきたい。

議案第13号に附帯決議(案)を提出

議案第13号(第4次白石町総合計画の策定)に議員から附帯決議(案)を提出し採決され、賛成少数で否決されました。

※附帯決議とは、審議の対象である事件の議決に当たって、その事件について付随的に付けられる意見又は要望の決議のことをいいます。

附帯決議(案) 要旨(提出者 溝上広行議員)

第4次白石町総合計画では、施策33「公共施設などの適正管理」において公共施設の総量縮減が示され、公共施設等総合管理計画では、令和18年度までに公共建築物の総延べ床面積を約77,000㎡まで縮減する目標が掲げられており、小学校の統廃合などにより多くの施設整理が見込まれる。

将来の財政運営に大きく関わる重要な取組であるため、具体的な工程(ロードマップ)の整理と進行管理の明確化を図り、計画的な取組を進めることを強く求める。

【討論概要】

修正案に反対、原案に賛成

●中村秀子議員

ロードマップ作成の意義は認めるが、公共施設の総量縮減は行政施策や社会情勢等の影響を受けやすく、計画の固定化により柔軟な行政運営を妨げる恐れがある。また確定計画と誤解され絶望感や過度な期待を与えかねないため、計画の公表は慎重であるべきだと思う。

●田島隆一議員

公共施設の総量縮減は重要で計画的推進に異論はないが、総合計画は町政の大きな方向性を示すものであり、具体的工程は個別計画で柔軟に対応すべきである。本附帯決議はその役割をやや超え、執行部の裁量を狭める恐れがあるため賛成できない。

修正案に賛成、原案に反対

●前田弘次郎議員

町民にとってより具体的で分かりやすい計画にするために、具体的な工程の整理と進行管理について十分検討し、計画的な取組を進める必要があり、原案では不十分と考える。

議会活性化特別委員会 議論する議会へ

白石町議会も、これまで議員が個々に執行部(町長等)へ質問することが中心で、議員全体で議論することが少ない状況でした。

議会は、議員相互が議論する場でもあります。

そこで、3月議会は、議員のみで予算を事業毎に検討する自主勉強会、議案に対して他の議員の考え方などを参考・共有するための意見交換会(議会基本条例第12条の議員間討議)の試行をおこないました。

その結果、3月議会の新年度予算と総合計画の審議のレベルが高まり密になったと評価がありました。

今回は、議会活性化特別委員会主催の試行でしたが、委員会で日程や開催方法の改善点を更に整理のうえ「議論する議会」を目指します。





YouTube 動画

たじま りゅういち
田島 隆一 議員

問 子育て支援の充実と若者の定住促進はこれでいいの

答 危機感を持ちつつ、切れ目のない支援で定住促進を推進する

議員 出生数がこの10年で約40%減少しているが、危機感はあるか。

教育長 少子化は教育環境や地域コミュニティの存続に直結

する深刻な課題と受け止めている。学校と地域が一体となつて子どもたちを育てる学校づくりに取り組む。

議員 保育・学童・

経済的負担軽減など子育て環境は整っているか。

保健福祉課長 9園

で待機児童ゼロを維持。子育て支援拠点「ゆめてらす」の開設、18歳までの医療費助成、保育料無償化（満3歳以上）、第3子以降無料、妊娠・出産時の各5万円の支給給付金など充実した支援を実施している。

議員 学校給食費の無償化の考えは。

学校教育課長 令和

8年度は、小・中学校とも無償化を実現。中学校は令和9年度以降の財源確保が課題であり、持続可能な形で継続を検討する。

議員 若者が住み続

け戻ってくるための条件と先進事例の活用は。

総合戦略課長 安定

した就労環境と生活環境の充実が重要。全国の先進事例を研究しながら「住まいるしろいし応援事業」「結婚新生活支援事業」を実施。白石町の強みを生かし各課連携で施策に反映させていく。

議員 「子どもへの

投資は未来への投資」。財源確保の考えを問う。

企画財政課長 最優

先課題として満額回答に近い予算措置を実施。ふるさと基金や21世紀人づくり基金など可能な財源を最大限活用していく。

議員 人口減少対策

の目標・達成状況と、若者の声の総合計画への反映は。

総合戦略課長 「毎年

100人の減少を取り戻す」を目標とし、令和7年12月末人口は2万716人（前年比▲1・39%）と過去10年平均から改善。

企画財政課長 第4

次総合計画に若者・子育て世代の声を反映し「住みたい、育てたい」まちづくりを推進する。

議員 町長は10年

後・20年後の白石町をどのようなまちにしたいか。

町長 「人と大地が

うるおい輝く豊穡のまち」を目指し、結婚から子育てまで切れ目のない支援を強化する。農業・漁業など基幹産業を守りながら、「白石町に生まれてよかった」と子どもたちが胸を張れる持続可能なまちの実現に邁進する。



YouTube 動画



片渕 栄二郎 議員

問 米の概算金に対する考えは

答 生産者と消費者双方が納得できる価格であることが望ましい

議員 令和8年度の
転作面積と転作率は、

農業振興課長

米の
生産のめやすは、昨
年度と同水準の作付
面積が提示された。

これを受け、農業再

生協議会では、転作

面積を1932^{ha}、

目標転作率を38・

14%に設定している。

議員 大豆の安定収

量が見込まれる新品

種の育種は。

農業振興課長

県では、多収大豆の新品種との比較試験が実施され、生育や成熟期の調査などがおこなわれている。今後の方向性が示される予定であり、フクユタカに代わる多収大豆の新品種を待ち望んでいる。

議員 令和7年産の

概算金は、生産者の立場からすると適正な販売金額とすることが、町としての見識は。

農業振興課長

令和7年産の概算金は、全国の多くのJAで大幅に引き上げられた。JAグループ佐賀でも約1・8倍と大きく引き上げられた。

生産コスト増加分

が適切に取引価格に転嫁されることは、生産者が安心して米作りを続けられるためにも必要と考える。生産者の所得が守られることを前提に生産者と消費者双方が納得できる価格であることが望ましい。



●担い手農業者との意見交換

問 大型事業が終了すれば、どのくらいの予算規模になるのか

答 公共施設の再編集約を進める必要があり、今後も大きな予算規模で推移する

議員 小中学校の整備

や漁港など大型事業が終了すれば、どのくらいの予算規模になるのか。

企画財政課長

令和7年度の補正後予算額は約219億円で過去最高となった。大型事業や特有の要因を除くと国家予算の伸びと一致する。新設小学校の完成後も、将来の人口規模を見据えた公共施設の再編集約を進めていく必要がある。今後も大きな予算規模で推移するものと思っている。

問 町民が使いやすい商品券の給付を

答 1万円の「しろめしデジタル商品券」は、60歳未満はスマホ、60歳以上はプリペイドカードの給付とした

議員 昨年給付された(3千円)商品券では、スマホからプリペイドカードに変更された件数は1748件と多くあり、

町民のデジタルに関するデータが得られたと思う。今回発行する商品券給付事業での名称と給付金額・使用期限は。

総合戦略課長 名称

は「しろめしデジタル商品券」。金額は1万円、3月中旬に全戸配布され8月31日まで使用可能。

議員 スマホとプリペイドカードの年齢区分は。

総合戦略課長 スマホは60歳未満でプリペイドカードは60歳以上。

議員 商店街の人が使いやすい対策は。

総合戦略課長 町内業者を対象に説明会を実施し、プリペイドカードの読み取り機を無償貸与する。

問 都市計画を2028年(令和10年)に実施してはどうか

答 今年9月の予定だが、佐賀県に期日延長を求める

議員 現在、本町の都市計画区域の概要は。

総合戦略課長 昭和31年に北明地区を除く旧白石町が都市計画区域となっており、北明地区、福富地区、有明地区は都市計画区域外である。

議員 目的と今後の流れは。

総合戦略課長 町全体の安全性と生活基盤を長期的に確保し、町の将来像と整合性のある土地利用の基盤を作る。実施時期は今年9月を予定している。

議員 町民の周知と

今後の2028年(令和10年)に実施したらどうか。

総合戦略課長 今回対象となる公民館に県職員を含む職員派遣は困難で、当然莫大な費用が掛かり実施はできない。

都市計画区域拡大の実施時期については、佐賀県に期日延長を求める。

町長 公民館レベルでの説明会は出来かねるが、要望のあった地域には、説明会を行う考え。



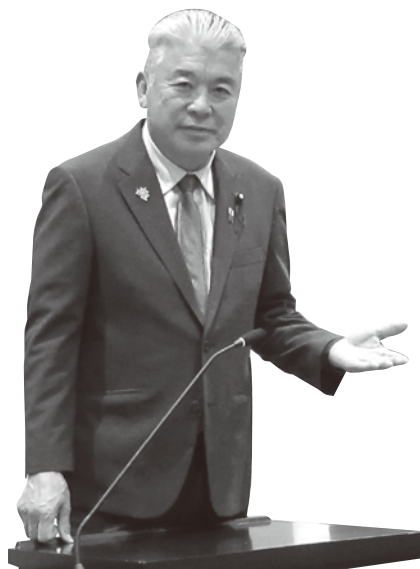
YouTube 動画



岸川 信義 議員



YouTube 動画



前田 弘次郎 議員

問 道の駅しろいし12月の売上は

答 1億910万614円である

議員 町長が町内産にこだわり、出荷者や従業員の方々の力でここまでできたのではないか。

町長 出荷者協議会の方々の努力と運営

側の企画やイベント力により盛り上げていただいている。それと、白石町民の後ろ押しも売り上げに貢献していただいている。

の努力と運営

議員 道の駅しろいしのバックヤード工事の進捗状況は。
商工観光課長 今年度、基本・実施設計業務が完了した。来年度工事を予定しており、令和8年度の当初予算に費用を計上した。

議員 2階テラス席を利用することで集客に繋がるのでは。
副町長 来館していただく方の、満足度向上と道の駅の賑わい創出に繋がるような活用策を模索していく。



●道の駅しろいし

問 本町の小中学校の不登校の現状は

答 不登校児童生徒は直近5年間、小学校で10人強、中学校で30人前後

議員 不登校生についてどのような対応を行っているのか。

主任指導主事 校内では、当該児童・生徒のみならず、教育相談主任や級外職員、場合によっては管理職も含めた組織的な支援を行っている。



●コウノトリ

問 有明地域の小学校統廃合後の利用計画の経緯は

答 『公共施設等マネジメント推進検討委員会』で協議を重ねた

議員 有明地域の小学校統廃合後の施設利用について地元からの要望は。

総合戦略課長 先日開催した『小学校跡

地利用を考える会』で出た意見を具体的な活用計画の参考にさせていただきたいと考えている。

問 読書活動の重要性の認識は

答 学習能力や人生に重要な影響を与える

議員

子どもの時期の読書活動は読解力や思考力に大いに有効であると言われていいる。本町での認識を問うとともに、子ども達の読書活動を推進するために、幼

児期の読み聞かせや学校図書室の活動、また町の施策を問う。

学校教育課長

読書活動は言語力や思考力だけでなく好奇心や探究心を育む等、学習能力や人生に与



YouTube 動画



なかむら ひでこ
中村 秀子 議員

保健福祉課長

子ども達の健やかな成長のためにブックスタート事業を行っており、読み聞かせグループや保育園等読み聞かせを行っている。町内唯一のゆうあい図書館の利用

議員

ゆうあい図書館の利用

状況や課題、読書活動活性化のための取り組みについて訊いた。

生涯学習課長

ゆうあい図書館の蔵書数は約4万冊年間240万円の図書購入費である、しかし人口一人当たりの図書貸し出し冊数は2・5冊である。今後町民の皆さんが親しみやすい図書館にするために、できる事から変えていきたい。まずお茶等の飲み物を飲むことができるようにしたり、図書館でパソコン等の作業ができる環境を用意したり、また、長く読書をできる場所の確保や、ゆうあい館玄関ホール

の活用を検討したい。

問 新有明放課後児童クラブの概要は

答 児童数111名、支援員12名、3月25日から開設

議員

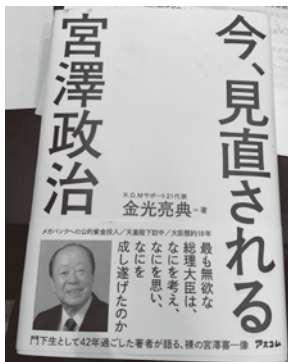
新有明小学校の放課後児童クラブの概要を問うとともに、長期休業中は長時間に及ぶため、子ども達にとつても支援員にとつてもストレスがかかる。学校の図書室や空き教室等の施設を使用できないか。また、支援の必要な児童への対応は。

学校教育課長

学校施設の活用については課題を解決できれば利用できるようにしたい。関係団体が連携し児童の利益を第一に考え協力体制を築きたい。

保健福祉課長

有明放課後児童クラブに



●町長おすすめの本



YouTube 動画



みぞ かみ ひろ ゆき
溝上 広行 議員

問 都市計画区域拡大における住民負担への救済措置は

答 検討、協議中

議員 都市計画区域

の町全域拡大は、生活や営農に広く影響する。特に再建築困難地など、一部住民に不利益が集中する

恐れがある。

負担規模の把握や代替手法との比較検討、救済措置は不可欠である。

総合戦略課長

不利

益や負担の把握、救済措置は重要だが、「不可欠」とすると政策決定が遅れる恐れがある。限られた条件の中で合理的な判断を行うことが重要。区域拡大は、防災性向上、無秩序開発抑制、計画的インフラ整備に必要な基盤と考える。

議員 条例や個別法で代替できないのか。

総合戦略課長 区域内では建築基準法の

集団規定や開発許可制度が適用される。また都市計画道路等の決定も可能となり、条例や個別規制での代替はできないと認識している。

議員 接道要件不適合の発生数は。

総合戦略課長 調査

の結果、町全体で980件、約4・7%。ただし県の特別許可等により一定数は対応可能と見込んでいる。

議員 町全体の利益

のために、一部住民へ過度な負担が集中するのは適切でない。行政の政策判断による不利益について、制度的な補償・軽減措置は当然の責務であると考える。

次のような救済措置の考えはないか。

- ① 建築基準法第43条の弾力運用の県との包括協議・覚書締結
- ② セットバック用地の買取や固定資産税の減免
- ③ 接道確保のための町道認定や道路拡

幅等の計画的実施

- ④ 農業振興の観点から、平屋・延床200㎡未満の農業用倉庫等の簡易な図面による建築確認制度や図面作成費補助

総合戦略課長 ①に

ついて、すでに県では包括同意基準により弾力的な運用をされている。

建設課長 ②(用地買

取)について、その都度の買取は考えていない。道路拡幅整備計画に結び付くのであれば相談したい。

- ③ について、地元の合意形成や耕作者への配慮など慎重な検討が必要。
- ④ について、建築確認は全国一律の制度であり、町は簡素化を行える立場にな

い。倉庫は汎用性が高く農業用かどうか設計書では判断できないため、補助は行わない。

税務課長補佐 ②(固

定資産税) について現在関係課と協議中。



南里 隆司 議員

問 熱中症予防休憩所の拡充を

答 まずはニーズの把握についてしっかりと取り組んでいきたい

議員 今年の夏も厳しい暑さが予想される。本町の熱中症予防休憩所は現在3か所で、近隣の市町に比べても大変少ない。冷房の利用を控えがちが高齢者に加え、経済的な理由で

利用を控える世帯も増えるのではと危惧する。町民が気軽に利用できる熱中症予防休憩所を増やす必要があると考えます。

総務課長 災害級の暑さの夏が続き、熱中症予防は大事な課

題であり、予防休憩所の拡充については、他の市町の取り組み、状況等について調査を行っているところ。

議員 福富ゆうあい館の熱中症予防休憩所については、提供場所を現在の和室からホールへ変更することや、熱中症警戒

アラートのアナウンス放送の熱中症予防休憩所の部分を利用の呼び掛けだけにすることを提案したい。

総務課長 熱中症警戒アラートのアナウンス放送については、町民の気持ちに寄り添い、どう受け止められるかを考えていきたい。

問 閉校する有明地区3小学校の跡地利用について

答 町民の声を聞く取り組みをしており、生かしていきたい

議員 執行部が、3回にわたって「跡地利用を考える会」を開催し、傾聴すべき多くの意見が出された。この問題は、本町全体を、どういう町にしていくのかという問題と密接に係ることだと再認

識した。今後の検討にどう生かしていくのか。

総合戦略課長 有意義な会になったと考えており、出された意見については、しっかりと受け止めて、跡地利用を考えていきたい。

問 きれいで使いやすい公共施設のトイレを

答 計画を立て、洋式化などに取り組んでいる

議員 施設のトイレに関する意識調査で、トイレの印象が、その施設の好感度に大きく影響するという結果が出ている。トイレの印象が悪いと、その施設を利用したくないという人

も多い。洋式トイレがない所については改修が必要だと考える。

企画財政課長 改修が必要な所は、当然把握しており、計画的に進めている。

問 職員の早期退職を減らし、人材の確保を

答 人材の確保は重要だと考えており、職員の声を聞くなど取り組んでいる

議員 近隣の自治体では、正規採用された職員の4人に1人が10年以内に自己都合退職をしている所もあり、行政への要望が多様化する中で、人材の確保は極めて重要だと考える。この問題を、どのように考え、どのように取り組んでいくのか。

総務課長 町民に対して責任を持って施策を実行していく上で、人材の確保や育成は、大変重要だと捉えており、職員の率直な声を聞くなどの取り組みを行っている。



YouTube 動画



とも だ か ず お 議員
友田 香将雄

問 各小学校体育館エアコンの早期整備を
答 早期に整備が図られるよう検討

議員 中学校体育館のエアコンを令和9年に整備する計画だが、小学校はどうするのか。町民の関心も高く、早期に整備

方針を示すべきだ。
学校教育課長 白石地域新設小学校は新設時にエアコンを整備。福富小学校と新有明小学校は整備の

町長 時期や方法も含め速やかに検討していく。児童生徒の安

全確保最優先。早期に整備が図られるよう検討。

問 重度心身障害者医療費助成の現物給付化を

答 他市町と連携し早期実現に向け取り組み

議員 重度心身障害者医療費の償還払いは経済的にも、手続的にも当事者の負担が大きいのでは。

長寿社会課長 一時的に医療費負担が必要な「償還払い」は助成金の振込までの間の負担が大きく、また、手続きも大変負担であると理解している。「現物給付」となるよう県内全市町で協議を進めているが国保ペナルティ

等の財政的負担の問題があるため、負担軽減等を県に求めていく。他市町と連携して現物給付化に向けて取り組む。

町長 早急に改善が必要。現物給付化に向け県に負担軽減を求めたい。また、本助成制度を国の責任において行うよう県と連携し求めて行きたい。

問 閉校小学校跡地の方針を早期に示すべきでは

答 強いリーダーシップをとって迅速に方向性を定める

議員 閉校3小学校跡地の方向性が定まらない状況では維持管理費で莫大な費用が掛かる。

今後の方針について早期にロードマップをしめすべきではないか。

総合戦略課長 跡地

については行政需要の洗い出しを行い、需要がない場合は企業団体利用の模索、その需要もなければ解体等、様々な方向で検討。

町長 強いリーダーシップをとって迅速に方向性を定める。地域にとって最良

の活用方法を示していく所存。

※その他、農業・漁業振興と支援策について質問を行った。



全国町村議会議長会表彰

町村議会議員特別表彰 内野さよ子

多年にわたり白石町議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に尽力したことに対し受賞されました。



最近の主な議会活動 1月～3月

	日	曜	行 事
1月	4	日	白石町二十歳のつどい
	5	月	新年挨拶回り
	6	火	新年挨拶回り
	7	水	J Aさが杵藤エリア白石支所より要望書提出
	9	金	議員例会、議員説明会
			議会活性化特別委員会 白石町商工会合併20周年記念式典、賀詞交歓会
	10	土	白石町消防出初式
	15	木	白石町功労者表彰式
			議会広報特別委員会 議会運営委員会
	17	土	拉致問題を考える県民の集い
	19	月	臨時議会
			議会活性化特別委員会
	23	金	政策研究委員会、町村議会議長・局長合同会議
	27	火	総務常任委員会所管事務調査
白石町総合計画審議会			
28	水	佐賀政経懇話会	
		佐賀県町村監査委員協議会定期総会、研修会	
29	木	文教厚生常任委員会所管事務調査	

	日	曜	行 事
2月	1	日	白石町人権フェスティバル
	2	月	同和問題地区別研修講座
	4	水	福吉地区より要望書提出
	7	土	白石町社会福祉大会
	10	火	議員例会、議員説明会
			佐賀県後期高齢者医療広域連合代表者会議、地区会議、全員協議会 議会活性化特別委員会
	11	水	議員研修 地方議員活性化フォーラムin大津
	12	木	産業建設常任委員会所管事務調査
			杵島地区衛生処理組合議会定例会事前説明会 白石町総合計画審議会

	日	曜	行 事
2月	15	日	北方領土返還要求佐賀県民集会
	16	月	杵藤地区広域市町村圏組合議会事前勉強会
	17	火	佐賀県町村議会議長会定期総会
	18	水	佐賀県西部広域環境組合議会定例会議案説明会 議会運営委員会
	19	木	佐賀県後期高齢者医療広域連合 議会運営委員会、定例会
			白石町の国民健康保険事業の運営に関する協議会
	24	火	杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会開会
25	水	白石町環境審議会	
		佐賀県西部広域環境組合議会定例会	

	日	曜	行 事
3月	1	日	歌垣の郷ロードレース大会
	3	火	須古歴史観光振興会10周年記念式典
			3月議会定例会開会、議案審議、議案勉強会
	4	水	一般質問
	5	木	一般質問
	9	月	一般質問、議員説明会
	10	火	議案勉強会
	11	水	議案審議
	12	木	議案審議
	14	土	白石土地改良区通常総代会
			佐賀県農協青年部協議会創立70周年記念式典
	16	月	議案審議、閉会 議会広報特別委員会
	18	水	白石町社会福祉協議会理事会
	20	金	神崎市市制施行20周年記念式典
25	水	杵藤地区広域市町村圏組合議会2月定例会閉会	
26	木	白石町行財政調査委員会	
27	金	白石町まちおこし運営委員会	
		白石町社会福祉協議会評議員会	
30	月	佐賀県西部広域環境組合圧縮切断施設落成式	

総務常任委員会 都市計画に関する調査

1月27日、小城市を訪問し、都市計画区域拡大に関する調査を行った。

小城市は元々旧二日月町と旧芦刈町が都市計画区域外だったが、合併による都市政策の一体化を目指し、約1年の準都市計画の期間を経て、平成22年に全域が都市計画区域に指定された。

準都市計画から都市計画に移行する2段階のステップを踏んだことで、住民が規制に慣れ生活は変わらない安心感に繋がったことや、住民説明会では、無秩序な乱開発を抑制しまちづくりの基盤になるといったメリットだけでなく、建築確認申請手続きが必要になることについても丁寧に説明を行ったとの説明があった。



●小城市建設部都市計画課から説明を受ける

文教厚生常任委員会 町立図書館の運営に関する調査

1月29日、基山町を訪れ、町営図書館の運営に関する調査を行った。

基山町立図書館は、公園と図書館が一体となった「まちのリビング」のような居心地の良さ、安全・安心な環境づくりをコンセプトとし、人口2万人未満の自治体で8年連続個人貸出冊数日本一となっている。

館内は、保護者が子供を見守りやすい設計、ティーンズコーナー、WiFiが利用できる閲覧スペースなどさまざまな工夫があり、司書体制も充実している。

また、ブックスタート事業や読み聞かせなどの子ども読書推進活動にも力を入れており、図書館を町政の中心に据えた取り組みから学ぶことが多い研修であった。



●館内の様子

産業建設常任委員会 農業の現状と課題についての意見交換会

2月12日、町内で大規模農業を営む3名の農業者と、農業の現状と課題についての意見交換会を行った。

意見交換の中で、農地集約の難しさや人材育成、排水対策などの課題が挙げられ、特に複数の所有者による合筆や地域間調整の難しさ、後継者不足が大きな問題となっている。

また、水利管理では、用・排水を含めた運用が課題として挙げられた。

今後は、農地集約の具体策や地域を超えた連携の推進、排水対策の強化など、持続可能な農業体制の構築が求められる。

今回の意見交換会を踏まえ、課題解決に向けた取り組みを行っていききたい。



●農業者との意見交換



要望書を受け取りました

●生産資材高騰に対する要請

提出者 佐賀県農政協議会白石地区支部
支部長 小野 康文

●福吉区内蛭子町交差点の事故防止についての要望

提出者 福吉区 区長 中村 保弘

編集後記

議員になって初めての県外視察で神奈川県寒川町を訪問しました。議会として、町民との距離を縮めるために、先進的な取り組みをしておられます。議会の取り組みを分かりやすく伝え、町民の率直な意見を聞き集まりなどを開催していることなど、大変参考になりました。

懇談の際に印象的だったのは、寒川町議会議長の、「町議選挙の投票率が非常に低く、何とかしたいという気持ちも原動力の一つだった」という発言でした。40%を切っているそうです。私も、投票率は民主主義の発展の度合いを計るバロメーターだと思うので、どんな選挙でも、先ず投票率に目が行きます。県内の市町の議員選挙も、50%位というところがあります。白石町は70%位ですが、私の小さい頃は、投票に行くのが当たり前だという雰囲気が強かったので、減る傾向にあるのは残念です。

地方自治は民主主義の学校と言われ、大事な役割を持っているので、この議会だよりも、一人でも多くの方に投票に足を運んでもらうよう、より充実させていきたいと思います。(南里)

議会戦隊 炊飯ジャー

作: Sachiemon

第49話「道の駅しろいし」



これ食べてみたいーい



え!?白石ってこんなのも作ってるの!!



限定フレーバーのソフトクリーム



白石町議会だより/第84号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1
TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611
E-mail gikai@town.shiroishi.lg.jp

編集/議会広報特別委員会 責任者/白石町議会議長 内野さよ子

広報委員/委員長 定松 弘介
副委員長 友田 香将雄
委員 吉岡 正博
〃 田島 隆一
〃 南里 隆司
〃 溝上 広行